

スクールバス運行への意見の検討結果

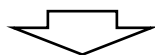
R6.12.3 作成 学校教育課

- ・両校での説明会にて保護者の皆さまからいただいた意見について、教育委員会と学校で検討した結果は次のとおりです。

①停留所について

【意見】

- ・交通量が多い停留所の位置を変更してほしい。
- ・町内が広く、1箇所の停留所で足りないため、停留所を追加してほしい。



【検討結果】

- ・現地確認及び、町内会長へ実情を確認し、変更を行った。

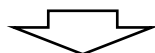
旧諏訪小学校区 …南新保・上真砂

旧戸野目小学校区…荒屋・四辻町・上野田

②運行について

【意見】

- ・「運行パターン下校①」について、終点に近い児童の6限下校後の帰宅時間が遅くなってしまう。
- ・各停留所の停車順を固定化するのではなく、月ごとに逆回りする等の対応は可能か。



【検討結果】

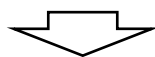
- ・児童が安全に降車できるよう、停留所側にバスが停車するように運行ルートを選定している。
- ・逆回りの運行は、停留所の反対車線側に児童が降車することになり、危険である。
- ・以上のことから、安全なスクールバス運行を行うため、逆回り運行は行わない。

【意見】

- ・「運行パターン下校③」について、1 便目を「諏訪地区運行」とし 2 便目を「戸野目地区運行」とする対応は可能か
- ・2 便目を利用する児童の学校待機時間も考慮してほしい。

参考：1 便目の待ち時間について

- 1 便目を諏訪地区・戸野目地区を併せて運行する場合…「25 分」
- 1 便目を諏訪地区のみ運行する場合 …「36 分」



【検討結果】

教育委員会・学校の観点

- ・諏訪地区、戸野目地区の別を問わず、同じ学校区の児童として過ごす環境を整えること
- ・諏訪小学校区児童の通学手段を確保すること
- ・戸野目小学校の路線バス利用児童の課題解消を求める地域の声
- ・スクールバス運転手の確保が困難な市における持続的なバスの運行維持
- ・スクールバス運転を継続する中での、待機時間のバランス



- ・これらの考え方を基に検討した結果、「現在の児童間の融和」や今後、新たな校区の下、新入生を迎えていく中で、「児童の目線になったときに違和感が残らないルート設定」となるよう、「諏訪地区運行」「戸野目地区運行」と分けることはせず、資料②運行パターン下校③のとおり、以前の案を見直し、初年度（令和 7 年度）は 2 か月ごとに東便と西便の運行順を入れ替えることで、児童の待機時間の問題を解消することとし、その状況を確認する中で、運行 2 年目以降の取り組みを検討する。

③停留所の見守りについて

【意見】

- ・停留所での保護者及び地域の見守り体制は必要か。



【検討結果】

- ・スクールバスの停留所は、これまで保護者と安全な場所であるか確認を行っており、各停留所から自宅までの距離も短いものと考えており、教育委員会・学校としては見守りが必須と捉えていない。

※各町内会・保護者による任意の見守りの実施は、差し支えありません。

今後の動き（予定）

- ・本日の説明会での運行ルートを基に、今後運行準備を進めていきます。

11月下旬 …実車（同一車種）での試験運行

12月下旬～1月…令和7年度スクールバスの使用申請

1月下旬～2月…人数を反映した運行ルートを保護者へお知らせ

諏訪地区児童乗車体験・試験運行(登校)・諏訪地区・戸野目地区児童乗車体験(下校)

3月 …本運行に向けた最終調整